



Ferris University

2016 No.14

# フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

《聖句》

主は人の一步一步を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

詩篇 27章23節

## 「創立150周年に向けて」

理事長 奥田 義孝



4年後の2020年に学院は創立150年の記念の年を迎えます。昨年10月、理事会のもとに鈴木佳秀学院長を委員長とする150周年記念事業統括委員会を立ち上げ、記念事業の構想を固めてきました。大学は、第一次事業として「CLA構想の実現(2号館改修)」、第二次事業として「女性のエンパワメント支援(社会との接続教育の充実)」を掲げています。また学院共通の事業として、山手6号館を改修して、それぞれの同窓会室や同窓会利用のための施設整備を計画しています。同窓生の皆さまにはこれらの記念事業にご期待いただくとともに、ご理解とご支援を心からお願ひ致します。

(注：CLA=Center for the Liberal Arts)

少し旧聞に属しますが、今年の4月から6月にかけて、上野の東京国立博物館で「黄金のアフガニスタン(守り抜かれたシルクロードの秘宝)」と題する展覧会が開催されました。その展覧会場に次のよ

うなメッセージが掲げられていました。「自らの文化が生き続ける限り、その国は生きながらえる」「A nation stays alive when its culture stays alive」。これは展示品を所蔵するアフガニスタン国立博物館が、長年の内戦終了後の2004年に再開された際、博物館の入り口に掲げられたメッセージだということです。自らの文化に誇りを持つとともに、その文化が生き続けられれば、戦乱やさまざまな困難があろうとも、国は支えられ存続するという素晴らしいメッセージです。古くから「文明の十字路」といわれ、長い内戦を経験したアフガニスタンであるが故に、説得力のある言葉です。

今回このメッセージを思い出したのは、この言葉は学院あるいは大学にも当てはまるのではないかと思ひ当たったからです。「建学の精神」と「教育理念」に基づいて創りだされ、着実に積み重ねられてきた文化がある限り、学院、大学は生きながらえるのです。逆にいうと、いかに財政が安定し、規模が拡大しても、自らの文化が衰退すれば、学院あるいは大学は生きながらえないということになります。

皆さまの心の故郷であるフェリス学院大学の文化が今日まで生き続けてきたことを神と先人に感謝し、4年後の記念の年を更なる未来に向け、意義ある年になつたいと願ひます。

## 男子も厨房に立つ時代

学院長 鈴木 佳秀



個人的なことですが、家政科に関わるような思い出話を提供したいと思ひます。小学校四年生の時から、家庭科で調理を取り入れた授業が始まりました。サンドイツを作るクラスが楽しかったのを覚えています。戦後、これからは男子といえども家事をこなさなければ駄目だという信念で、母は兄と私に訓練を施したのです。小学校に入学する前から、掃除や洗濯は言うまでもなく、庭木の手入れやご飯の釜焚き、風呂焚き、鶏の世話、買い物等々、家事全般にわたって躰けられました。

電気釜などない時代ですから、竈を使ってご飯を炊くには、高度な技術が必要でした。火加減が大事だったからです。訓練を続けると、次第に完璧にご飯が炊けるようになり、自分でもできるのだ、と自信を持った思ひ出があります。自宅の鶏の世話をしてから、学校に向かうというのが私の日課でした。

そのお陰で、単身赴任になって、居酒屋に通い詰めるということもなく、中華鍋や圧力鍋を購入し、普通に自炊しています。掃除や洗濯、買い物などは、全く苦になりません。調理をしている時は、すべてを忘れてそれに没頭していますから、ストレスなどは一切感じません。もつとカミさんを手伝っていればよかつた、と反省しています。

掃除や洗濯とは異なり、調理にはスリルがあることを覚えました。母の手伝いでは、言われたことをきちんとするだけでしたが、自分用に一人分の料理を作ることになりましたから、どんな食材で、何をどのくらい作るのかを決めるところから、作業を始めなければなりません。それを考える時は、まるで自分が試されているような気になります。当たり前のことなのですが、これが結構楽しいのです。

忙しい日が続くと、次第に手抜きを考へるようになりました。味噌汁などは、レトルト食品が出ていますから、手抜きの第一になつていきます。私の手抜き料理の代表が、辛子明太子パスタです。和風スパの代表ですが、何を作るうか、とっさに思ひ浮かばない時は、買い置きしてある辛子明太子に手が伸びます。

家庭科の授業が、戦前からの古い考えを改める結果をもたらした、と思ひます。

# 「CLA棟」整備について

学長 秋岡 陽



二〇一六年夏から二〇一七年春にかけて、緑園キャンパスで「CLA棟全学教養教育棟」整備の大規模工事が行われます。校門を入ってすぐ正面の緑園二号館を、全面改修する工事です。

「CLA棟」はフェリス女学院大学の新しいリベラル・アーツ教養教育の拠点になります。学院創立一五〇周年に向けたグラウンドデザインの一環として、大学では「全学教養教育機構（CLA：Center for the Liberal Arts）」を構想し、全学部の学生を対象とした、四年間にわたる体系的な教養教育カリキュラムを展開し、「新しい時代を切り拓く女性」の育成をめざします。そのための「CLA棟」にはアクティブ・ラーニング対応教室も整備。フェリスの伝統であるリベラル・アーツ教育を、さらに充実した最新のものとヴァージョンアップします。

「CLA棟」には、「国際センター International Center (仮)」も開設され

ます。留学を希望する学生や、海外から受け入れる留学生の支援を行い、大学全体の国際交流の活性化を推進します。そこには学生の自習スペース、グループ学習スペース、留学生ラウンジも併設されます。

「CLA棟」には、フェリスの「建学の精神」や「教育理念（for Others）」と関連した活動の場として、コイノニアコーナー、ボランティアセンター、バリアフリー推進室も整備されます。同じフロアには、フェリスの歴史資料を展示するとともに学生・来訪者の集いの場となるウエルカムセンターも設置されます。

フェリスが一五〇年の歴史のなかで何を指してきた学校なのか、またこれからの時代に何を指していく学校なのか、一目瞭然となる建物が「CLA棟」であり、「一五〇年の祈り、未来へつなげ」のストーリーガンを体現する象徴的な建物となります。

このたび「フェリス女学院創立一五〇周年記念募金」が始まりました。このなかで大学は、記念事業「一次」として、「CLA棟整備事業」のためのご寄付をお願いしています。本学の特色をいかした魅力ある教育の展開にむけて、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五年に設立された支援組織です。設立以来、同窓会、卒業生の皆さまから多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

維持協力会へは、二〇一五年度末までに六億一〇〇〇万円のご寄付が寄せられております。大学部会では、緑園キャンパスの図書館棟や体育館の新築工事資金の一部として、また、山手キャンパス八号館の耐震・改修工事の資金に活用させていただきました。

本年六月からは、二〇二〇年の学院創立一五〇周年に向けた記念募金を開始しました（※詳細は募金趣意書をご参照ください）。引き続き維持協力会を通してのご支援をよろしくお願い申し上げます。

### ● 会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。ご入会后、会員の皆さまには、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付いたします。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上で』をお送りして、寄付金使用状況等を報告いたします。今年度から寄付者芳名録（掲載をご了承いただいた方のみ）を作成し、このたよりと共にお送りいたします。

寄付金総額が二五万円に達した方は、終身会員としてご登録させていただきます。終身会員の皆さまには校歌CD、年二回フェリス女学院広報『ALL FERRIS』をお届けします。

### ● ご寄付の方法

原則一口一万円としていますが、金額にかかわらずご厚志をお受けします。専用の振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております（※詳細は学院HPをご参照ください）。継続的にご寄付をくださる方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度もご利用可能です。ご希望の方は、担当までお問い合わせください。

### ● 寄付金控除

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、学院から送付）。※税制上の優遇措置を利用される場合は、確定申告者ご本人様名義の「振替払込請求書兼受領証」か「領収証」が必要となります。領収証の再発行が必要な場合は、お問い合わせください。

### ● お問い合わせ・資料請求先

フェリス女学院本部事務局 総務課  
電話 〇四五・六二一・四五一  
E-mail [hsoumu@ferris.ac.jp](mailto:hsoumu@ferris.ac.jp)

# Fグループ・りてら・りべるて合同総会

2016年6月11日・カイパー記念講堂にて



第13回合同総会は、夏を思わせる青空のもと、山手カイパー講堂に200名を超える会員のご出席を得て、開催されました。「久しぶりにカイパー講堂のステンドグラスを見て、礼拝を守り、学生時代に戻った気持ちになり、来てよかった」とのお声を耳にし、山手で総会を開いて良かったと、あらためて思いました。

礼拝は、元学院長の岡野昌雄先生、奏楽は小清水桃子さんにお願いたしました。詩篇37 23節、24節を朗読され、「王の定めた道」と題してお話をされました。人生はよく道に喩えられ、道はいつか終わる。十分に生きたとの思いがあれば良いが、まだまだ十分に生きたとの思いがない時に道が突然終わることもある。私たちの道は神様が定められるのです。私たちの人生に完成はあるのでしょうか。長く生きれば良いのでしょうか。未だに答えができません。完成・未完成の意味は、歩いてきた道の持つ意味にあり、御旨にかなう人生を歩めるように、日々生きることが大切であるとお話くださいました。



国際交流学部長、立神粧子音楽学部長、星野薫事務局長、岡谷幸輝事務部長、衛藤怜子白菊会会長をお招きいたしました。

金子和恵りべ

るて会長の挨拶の後、奥田理事長より、学校は学生、生徒、教職員、卒業生により成り立つものですが、フェリス学院は、卒業生の存在の大きさによって支えられています。2020年にフェリス女学院は創立150周年を迎えます。今年からは記念事業を始めますので、皆さまのご協力をよろしくお願したいとお話をいただきました。続いて、秋岡学長より、フェリスはとても良い学校です。このままフェリスらしく続くことを願っています。そして創立150周年記念事業に改めてご理解ご協力をお願いしたいとお話をいただきました。

その後、Fグループ九州・山口支部のコーラスグループ「ヘカメラータ リリア」の皆さまによる演奏が披露され、その後全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に向かいました。来年は6月10日(土)、山手で開催する予定です。皆さま、お誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



## Fグループ総会

6月11日(土) 8号館アートサロンにてFグループ総会が開催されました。

初めの会長交代式では、選挙管理委員長の永井京子様より、会長選挙において小林周子新会長の推薦が上程され、満場一致で承認されたとのこと報告をいただきました。そして、6年間の感謝の気持ちを込めて、新会長から熊本美也子前会長への花束贈呈が行われました。前会長、新会長のご挨拶の後、ご来賓の奥田義孝理事長、秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、谷口昭弘音楽芸術学科主任、星野薫事務局長より学院50周年に向けて、熱い思いの込められたお話を頂戴いたしました。

議事では15年度会計報告、会計監査報告、16年度予算案がそれぞれ承認され、15年度活動報告、16年度活動予定の報告がありました。その後、新卒業生によるピアノ、声楽のフレッシュな演奏が披露されました。各支部から報告もいただき、大変盛り沢山な内容となりました。

本年度もコンサート、研修会、Fグループ同窓生と同窓生の生徒さんによる山手の丘合同発表会を開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



(報告 亀山知子・35回)

## りてら同窓生のつどい

6月11日(土)、カイパー記念講堂での大学3同窓会総会の後に、フェリスホールに移動して『りてら同窓生のつどい』が開催されました。

りてら会場にご臨席いただきました谷知子副学長、井上恵美子文部部長、大西比呂志国際交流学部長から、お言葉をいただきました。やがて他会場から奥田理事長、秋岡学長も到着され、お話をいただきました。

秋岡学長からは全学教養教育機構(CLA)について、その拠点となるCLA棟の整備についての説明を伺い、りてらからの寄付金を贈呈させていただきました。

秋岡学長は「この事業に対して応援していただけることがうれしく、多くの皆さまにこの応援の輪に加わっていただきたい」と熱く語られました。

その後、懇談となりましたが、80代から20代までの同窓生が参加して会場は穏やかな雰囲気でした。フェリスの絆は世代を超えて、強く結ばれていると実感しました。

来年もぜひお誘い合わせして山手の丘にお出かけください。



(報告 羽田明美・1979J)

## 第27回 りべるて総会

晴天に恵まれた6月11日(土) 家政科記念会館に於て、学院から奥田義孝理事長、秋岡陽学長、荒井真副学長、円谷幸輝事務部長ご臨席のもと、りべるて総会が開催されました。

奥田理事長より2020年に創立150周年を迎えるにあたり、今年より始める記念事業への同窓会のご協力をお願いしたいとのこと挨拶がありました。

秋岡学長よりフェリス女学院のキリスト教女子教育の理念やObersの思いや、「CLA」全学教養教育機構への取り組み、150周年に向けての計画についてうかがいました。

次に『りべるて奨学金』の目録が秋岡学長に贈呈され、有効に使われている状況をお話しくださいました。

金子会長挨拶には、96才になられた友井先生のお元氣な様子や同窓会の現状と未来への思いがありました。荒井副学長や円谷事務部長のご挨拶をいただいた後、出席者、委任状合計により総会成立が報告され、議事に移りました。2015年度事業報告、決算報告、会計監査報告、2016年度事業計画(案)、予算案(案)が審議、承認されました。

懇親会では、卒業以来初めて出席された方々を交え、懐かしい山手での思い出が和やかに語られました。今年も総会が無事に終了しました事を感謝と共にご報告申し上げます。



(報告 田原吉子 D57)

## 2015年度学位授与式

同窓会では、今年、

- 文学部 300名
- 国際交流学部 211名
- 音楽学部 88名

の卒業生をお迎えすることができました。



## 同窓会のグッズ販売

本年も3月18日の卒業式と4月1日の入学式で、大学側のご配慮によりコーナーを設けていただき、りてら・Fグループ・りべるて各同窓会オリジナルグッズを、学生、保護者の皆さまにご紹介と販売を行いました。

りてらは、校章入りのサブバッグ、文房具、アクセサリ等を、Fグループは、オリジナルファイル、書籍、CD等を、りべるては校章入りカードケース、エプロン、ペンケースに加え、校章焼き印入り三笠山を販売致しました。

同窓生に向けて販売していたオリジナルグッズです。学生や保護者の皆さまには、フェリスの校章入りグッズを持ると大変喜んでいただきました。

卒業生には、フェリスの思いとしてグッズをお持ちいただくとともに、同窓会を身近に感じていただける良い機会になったのではないのでしょうか。また、新入生には、校章入りグッズで勉学に励んでいただきたいと願っております。



## Fグループの皆さま

会長 小林 周子 (29回)



穏やかで美しい自然のながれの中に、度々とも思える程おとずれる自然の脅威に、ただ驚くばかりの今日この頃です。熊本在住の卒業生の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

夏を迎え、また会報をお届けする季節

となりました。

この度、3月の学年幹事会での会長選挙で信任をいただき、Fグループ会長の任をお引き受けることになりました。学年幹事の皆様、選挙管理委員の労を1年間お取りくださった皆様、ありがとうございました。

また、広い視野のもとの素晴らしい行動力と純粋なお人柄で、6年間の長きにわたって、Fグループをまとめてくださいました熊本美也子前会長に、心より感謝を申し上げます。

思い起こせば短大卒業後、間もない頃

からなんとなく同窓会の係りをしておりました。大先輩方のいろいろな思い出話を伺う度に、母校で受けた教育への誇りと愛情を深く感じ取ってまいりました。

私の在学中は、最も学生数の多い時代だったでしょうか。演奏旅行なども行われ、家庭的なフェリスらしさのなかにも華やかさが目立つときでした。そして、大学に発展改組して28年。更に幅広い教育を受けた若い卒業生も多く仲間に入ってくださいました。

異なる思い出を持ちながら、フェリスで音楽を学んだという共通の経験で結ばれた皆様と一緒に、楽しいFグループにしてまいりたいと思っております。

## 音楽学部の近況



2016年度新学期は、熊本地震のユースから始まりました。ご家族や住処を失った方々の生活が、早く落ち着きますようお願い申し上げます。

昨年度は音楽芸術学科の学生企画「戦争と音楽」が、サントリーホール主催の

音楽学部長 立神 粧子

レインボウ21に選ばれました。戦争をテーマに、音楽芸術学科生がプログラムを企画制作し、たかの舞俐先生の作品発表を含む演奏学科生たちによる演奏は、聴衆の心を打つものでした。フェリスの企画は話題となり、栃木県立美術館からも招かれて、再演し好評でした。

音楽芸術学科では、新任の斉田佳子先生によるジャズナイトがフェリスホールで初めての本格的なジャズ公演でした。船場ひさお先生による環境音楽分野での企業との産学連携プロジェクトやNHKで番組制作をしてこられた鈴木誠一郎

の企業との産学連携プロジェクトやNHKで番組制作をしてこられた鈴木誠一郎

先生による映像音楽制作関連の授業も楽しみます。

演奏学科では、フラウエンコーアの活躍に加え、弦楽合奏・管楽合奏ともにアンサンブルがますます充実。実技専攻生のオーケストラとの堂々とした共演に、学生一人一人の大きな成長を見ることができま

す。フェリスホールでは年間を通じて、楽しいコンサートや様々なジャンルの講師による特別公開講座が行われています。大学HPをご参考に、皆様どうぞお運びください。本物の演奏はYouTubeと感動の度合いが違います。

本年12月、2年振りにメサイアの演奏

今年も卒業生による「ジョイントコンサート」、研修会では秋岡陽学長に講師をお願いして楽しみな企画が予定されています。どうぞ皆様、ふるって足をお運びください。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈りするとともに変わらぬご支援をお願いいたします。

### Fグループ寄付ご協力のお願い

毎年歳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば有難く存じます。一口1,000円からお受けいたしております。

〈振込先〉 ゆうちょ銀行  
00280-3-75184  
Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

会があります。合唱の授業と運動して、学生が一所懸命練習して演奏します。ご来場をお待ちしております。

昨年度の就職内定率は、音楽芸術学科も演奏学科も学内トップでした。大学院への進学率も演奏学科が学内で群を抜いています。また、海外で勉強を続けている卒業生もコンクールで好成绩を残すなど頑張っています。

表現や技術を磨く音楽の勉強、そして企画や制作の現場体験を通して、学生たちは確実に、社会のどこでも通用する力を身につけています。

これからも音楽学部へのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

フェリス女学院大学開学50周年  
フェリスアーベント  
15年7月10日 フェリスホール

落合敦教授の「先生方とFグループアンサンブルが協力して、フェリスの良さや伝統を披露するコンサート」という発案により実現したこのコンサートは、名倉淑子名誉教授をお迎えして一新したFグループアンサンブル、立神粧子音楽学部長、ソプラノの西由起子先生、チェロの井上雅代先生にご出演いただきました。

Fグループが主催となってこのよう大きなコンサートを開くのは一昨年、昨年と続いた募金コンサート以来です。

当日は多くのお客様にいらしていただき、2階席までほぼ満席となり、大盛況に終えることができました。

同窓生と先生方の絆と温かさが感じられるとても素敵なコンサートとなりました。「または是非このようなコンサートを開いてほしい」という同窓生の皆様のお言葉にお応えして、今後また素敵なコンサートを企画したいと思っております。



担当 中川 彩(61回)

ジョイントコンサート  
15年9月18日 フェリスホール

この日は台風の影響で天候が心配されましたが、夜には雨風も弱まり無事にジョイントコンサートが開催されました。お足元の悪い中、多くのお客様にご来場いただき、ありがとうございます。今回は6組の同窓生をお迎えし、歌・ピアノ・ヴァイオリン・オルガンのプログラムでお送りしました。

新卒生の瑞々しい演奏から表現力に満ちた実力派同窓生の演奏まで、その人の年代にしか出せない音色を聴かせてくださいました。

今年9月10日(土) 16時開演です。皆様のご来場をお待ちしております。

「15年度出演者」

- 菊地 理恵(63回Vn)
- 落 美月(63回Pf)
- 今井田綾香(62回Pf)
- 松村由美子(31回Vo)
- 豊田 華子(45回Pf)
- 千葉麻莉子(64回Vg)
- 松壽 美佳(53回Vo)
- 寺本沙綾香(賛助Pf)
- 桐藤友妃子(43回Pf)



「ジョイントコンサート出演者募集」

毎年9月開催予定のジョイントコンサートは、Fグループ会員でしたら出演できます。書類審査がありますので、詳細はFグループ事務局までお問合せください。

担当 小清水桃子(55回)

研 修 会  
15年10月17日 フェリスホール

3年前に退任された岡島雅興名誉教授による研究会「フェリスゆかりの作品を集めて」を開催いたしました。

研究会は2部構成で企画し、第一部は高須



重紀子さん(41回)の演奏により、先生の初演作品など、ピアノの真の音を楽しみました。第二部は編曲作品を集めました。土屋広次郎先生指揮のもと、フェリスフラウエンコーアの華やかな歌声と土屋先生の迫力ある独唱に、会場が一体となり素敵な雰囲気でした。

岡島先生の「音」だけでなく、作曲された時のエピソードなどのお話もあり、多くのご来場の方々と大変貴重な時間になりました。

担当 瀧口めぐみ(43回)

第2回 山手の丘合同発表会  
16年3月26日 フェリスホール

昨年、同窓生の皆様のお役に立てればと始めた合同発表会は、今年も50名程のご参加をいただき大変盛況でした。

響きの豊かなホールで演奏できると皆様にご喜ばれ「来年も出演したい」とのお声もいただくことができました。

特別演奏として、熊本美也子前会長と小林周子会長が息の合った連弾を披露、小清水桃子さん(55回)も荘厳なパイプオルガンを演奏してくださいました。

今回より生徒さんに限らず同窓生の皆様に参加できるよう門戸を広げました。次回は、3月20日です。お申込み多数の場合は先着順に締切りとなります。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

担当 米田悦子(35回)



音楽の贈り物

～フェリスホール コンサート～

♪ジョイントコンサート

9月10日(土)  
16:00開演 全席1,000円

- 【出演】  
 澤田紀子(57回Pf) 森永美穂(48回Vo)  
 尾藤万希子(51回Pf) 新田裕里子(61回Pf)  
 小泉美千代(44回Gamb)  
 金子明子(43回Gamb) 中川葉音(57回Org)  
 石井きょう子(32回Vo) 福井早枝子(賛助Vo)  
 熊本美也子(17回Pf)  
 井手沙耶花(53回Pf)

♪研究会

11月12日(土)  
14:00開演  
一般1,000円  
中高生 500円  
小学生以下無料



【講演】主に向かって新しい歌をうたおう！  
 【講師】秋岡隆学長  
 【オルガン演奏】小清水桃子(55回)

♪第3回 山手の丘合同発表会

2017年3月20日(月・祝)  
10:30開演予定 入場無料

【参加者募集】  
 応募期間 2016年9月1日～12月6日  
 参加資格 Fグループ会員  
 Fグループ会員のレッスン生

お問合せ・お申込み Fグループ事務局  
 045-681-6740(木曜10時～17時)

## 学年幹事会

3月3日、山手6号館カフエテラスにおいて学年幹事会が行われました。出席人数は34名、委任状は46通でした。

15年度一般会計収支報告(仮)会計監査報告、16年度一般会計収支報告(案)について承認が行われた後、各役員から15年度諸活動の報告がありました。また選挙管理委員会の厳正なる管理のもと次期会長選挙が行われ小林周子氏(29回)が選出されました。

会はお天気に恵まれ、温かい雰囲気の中、円滑に進められ閉会となりました。



## Fグループ会長選挙

担当 朴 成姚(52回)

小林周子氏(29回)に決定  
熊本美也子会長の任期満了に伴い、会長として相応しい方を推薦していただきますよう皆様にお願いましたところ、小林周子副会長の推薦を5名の方々にいただきました。

学年幹事会において信任を問う選挙を厳正に行い、出席者34名、信任34票、不信任0票、白票0票、満場一致で小林周子さんが会長に信任されました。



ここにご報告申し上げます。

選挙管理委員長 永井京子(10回)

## 支部だより

### 北支部

支部長 工藤 羊子(30回)

昨年9月27日、福島県若松栄町教会で『讚美歌とクラシックとゴスペル』と題しまして、北支部同窓生4名と横浜から賛助同窓生1名との演奏により、第2回東日本大震災復興支援コンサートを行うことができました。

各方面みなさまのお支えにより、大変楽しく充実したコンサートとなりました。ことを、感謝と共にご報告いたします。来年度に第3回を札幌で開催できるように、今年度は準備の年といたします。

### 中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年度も演奏会を3回開催しました。ふれっしゅコンサートは4名出演でフェリスのレベルの高さを証明できました。

秋のコンサートは好評だった落合先生に再び来ていただきました。即興演奏は「本当に即興？」とお客様に驚かれました。卒業生のピアノソロも素晴らしく、アンサンブルも独自のハイモニーになりました。

子供達の演奏会はクリスマスに定着し、お客様も年々増えていきます。今年度は少し変則的なふれっしゅになりそうです。



### 関西支部

支部長 桐山 恵子(33回)

2015年は引き続き、支部長の桐山(33回)、役員の羽栗(37回)と新しく矢内(40回)でお世話させていただきました。本年もこのメンバーで続投いたします。

5月22日、京都市の「しようざん」にて関西支部総会を開催いたしました。新緑がまぶしい深谷にうつらえられた川床で、おいしいお料理と和気藹々としたおしゃべりに、楽しいひと時を過ごしました。

今年も6月22日(水)京都の鴨川をのぞむ会場で総会を開催いたします。

### 九州・山口支部

支部長 牛島 惇子(19回)

昨年5月に7年ぶりに支部長交代し、役員5人と共に、新体制で活動をスタートしました。

昨年11月には、久々にFグループ単独での臨時総会を開催し、今後の活動方針などを確認しました。

主な活動としては、年に1〜2回の演奏会を催すこと、オールフェリスの総会開催時に部会をして、事務的事項(会計等)の報告をすることです。

また、前役員の方々が立ち上げられた「ヴォーカルアンサンブル九州」の活動も支援しつつ、会員間の親睦と交流を深めていきたいと思っています。

## フェリス校章(シンボルマーク)ご注意

フェリス校章は、学院の内規により、形・色・使用方法が規定されています。支部活動や演奏会などで使用をご希望の場合、必ず事務局にご申請ください。ご連絡を受け次第、申請書類(シンボルマークのデータ等)を送りますので、折り返し申請書をご提出いただけます。学院の使用許可がおりるまで2週間程かかります。印刷は、認可がおりた後に言うようご注意ください。

## Fグループ役員紹介

会長	小林 周子(29回)
副会長	井上真記子(22回)
書記	久保井明子(35回)
書記	亀山 知子(31回)
書記	桐藤友妃子(43回)
会計	堀内 陽子(31回)
会計	太田 三美(35回)
企画	潟口めぐみ(43回)
企画	清水水桃子(55回)
企画	中川 彩(61回)
企画	米田 悦子(35回)
企画	八木 笑子(39回)
常任A	藤原 善子(27回)
常任A	成田 紀子(28回)
常任B	朴 成姚(52回)
常任B	山崎佑希子(53回)
会計監査	熊本美也子(17回)
会計監査	楠瀬由佳里(35回)
WEB	土屋 友紀(48回)
事務局	金子 明子(43回)
事務局	栢之間玲子(46回)





# Fグループ2015年度決算報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

(収入の部) (単位:円)

科目	決算額
終身会費	4,680,000
總會費	36,800
Ferris Abend 会費	342,000
ジョイント会費	172,000
研究修費	225,500
合同発表会	574,000
宛名シール	1,200
雑収	55,148
ハートフルコンサート	44,790
グッズ販売	183,210
Fグループへの寄付	294,504
小計	6,609,152
前年度繰越金	1,555,776
収入の部合計	8,164,928

(支出の部) (単位:円)

科目	決算額
(1) 運営費	1,390,074
会議費	3,529
印刷費	31,204
通信費	142,561
通人件費	750,060
交際費	38,614
事務費	17,098
備品費	0
出張費	18,920
交通費	327,000
学幹事会費	46,828
特別委員会費	14,260
予備費	0
(2) 活動費	2,317,087
總會関係費	368,620
研修会関係費	223,639
Ferris Abend 関係費	142,808
会報関係費	574,891
ジョイント関係費	111,421
リサイクル後援費	112,000
支部関係費	518,360
慶弔関係費	67,400
合同発表会費	197,948
予備費	0
(3) 諸会費	370,000
同窓会連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
(4) 積立金	2,010,000
名簿積立金	50,000
積立金	1,800,000
山手の丘再販積立	160,000
(5) 予備費	166,800
支出合計	6,253,961
次年度繰越金	1,910,967
支出の部合計	8,164,928

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2016年2月25日  
Fグループ 会計監査 柴田 美和子 佐々木 淑子

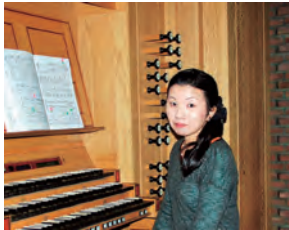
## from once a student

### 卒業生だより

神谷 栄(53回)

フェリスを卒業して10年ほどが経ちます。私が今いるのは西ドイツ・ヴェストファーレン州にあるヘアフォードという街です。この街の聖マリア教会(プロテスタント)で専属オルガニストをしながらヘアフォード教会音楽大学大学院(教会音楽A・カントール資格取得課程)に在籍しています。これはドイツでも最高峰で大変価値のある資格です。

フェリスでオルガンと出会った時から教会音楽を学びたい思いがあり、卒業後まずは日本で教会音楽を学び、神学校も卒業した後、ドイツへ渡りました。レーゲンスブルク教会音楽大学でオルガン科(MA)を卒業し、その後ヘアフォードでオルガンの国家演奏家資格(NZK-nzertexamen)を取得しました。教会音楽大学では合唱指揮やオルガンや即興など幅広く、また深く学ぶことが



オルガンコンサート聖パウロ教会 in Harsewinkel

#### [プロフィール]

音楽学部 器楽科ピアノ専攻卒  
聖契神学校卒、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所卒  
ドイツ国立レーゲンスブルク教会音楽大学オルガン科卒  
ヴェストファーレン州立教会音楽大学において  
国家演奏家資格取得 現在、教会音楽科(MA)在籍中  
ドイツ ヘアフォード市 聖マリア教会オルガニスト

出来、いつも聖書のことばがテキストとして溢れています。私の最終目標、A・カントール資格取得までと少しです。フェリス時代は目立つ存在でもなかった私を、ここまで導いてくださった神様に、感謝しています。「他者のために」というフェリスが掲げるモットーのように、卒業後は今までのこれからの教会音楽、キリスト教教育の発展のために力を尽くしていきたいと願っています。

### Fグループグッズ

人気商品のクリアファイルに、新作が仲間入りしました。前作はオルガン、新作はピアノを用いて、フェリスホールの美しさを表現しました。全4種類のご用意です。



ご自宅用、贈り物としてご愛用ください。Fグループ事務局にて好評発売中です。(各2枚組 300円) 担当 太田三美(35回)

### Fグループ事務局(木曜10時~17時)

\*Fグループ催しの折、設置の募金箱に頂戴しました募金、合計20,100円は音楽学部へ寄付いたしました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

\*山手6号館602教室は同窓生が利用できる教室です。ピアノが1台有り、伴奏合わせ・アンサンブル・会議・同期会などにご利用いただけます。「利用のしおり」を作成しました。

\*住所・姓・電話番号の変更・慶弔(先生・同窓生)などはご一報ください。\*宛名ラベルの印刷、演奏会の後援いたします。事務局にご連絡ください。

〒105-8511 横浜市中央区山手町68  
Tel&Fax 045-6811-6740  
E-mail f.group@ferris.ac.jp

Fグループのホームページ&Facebook 随時更新中!



http://f-group.hp.org/

Fグループ会報編集 米田 悦子(35回) 八木 笑子(39回)

**フェリス音楽教室**  
 こどもたちとともに61年  
 60周年を終え新しいページが始まりました!  
**大人向けレッスン生募集中**  
 毎週水・土曜日  
 音楽学部校舎で授業  
 <山手教室>  
 045-212-2396  
 <緑園教室>  
 045-813-1070  
 http://www.ferrismusicinst.org

## りてら会員の皆さま 会長 小澤 美智子 (1970J)



皆さま、いつも同窓会の活動にご理解  
とご協力を賜りありがとうございます。

今年も会報で皆さまにご挨拶を申し  
上げることとなりました。

五月に開催されました学年幹事会に  
於きまして役員任期に関する規約の改  
正をご審議頂きご承認いただきました  
ので、役員任期は一年となりました。新  
役員共々どうぞよろしくお願ひ申し上  
げます。

今春五三名の新会員をお迎えし、総  
会員数は一万八〇八五名となりました  
が、残念なことに住所不明者は約四千名  
いらっしゃいます。同窓会の一番大事な  
仕事は皆さまの名簿管理です。卒業後の  
皆さまの住所は同窓会が一括管理して  
おります。住所不明になりますと、同窓  
会だけでなく、大学や学院からのお知ら  
せもお届けすることが出来なくなつて  
しまいます。転居や地番変更、改正等ご  
さいましたら、りてらのホームページ或  
いはFAXにて同窓会室までお知らせ  
くださいますようお願い申し上げます。

さて、会報をお開きになり「一五〇周  
年」の文字が多いことにお気づきなら

れたこと存じます。

学院は来る二〇二〇年に創立一五〇  
周年を迎えようとしております。

私たち同窓生も本学の歴史や建学の  
精神、教育の理念(For Others)に誇りを  
持ち、フェリスの卒業生で良かった、と  
いう想いを強くされているのではない  
でしょうか。

学院全体で周年事業を盛り上げよう  
としております。六月一日より学院の  
ホームページには「創立一五〇周年記念  
特設サイト」が開設されております。

広く皆さまのご理解とご支援を賜り  
たく、りてらのホームページにもリンク  
を貼つておりますのでどうぞご覧くだ  
さいませ。

そしてかねてより懸案事項となつて  
おりました大学改革のグランドデザイ  
ンの実現が発信されましたことを大変  
嬉しく思つております。

幹事会、同窓生のつどいでは秋岡学長  
より全学教養教育機構CLACLA棟  
となる二号館の改修工事につきまして、  
とても分かりやすく夢のあるプレゼン  
テーションをしていただきました。大学  
が目指す教育構想のお役に立てたた  
だくため学年幹事会では改修工事費用  
へのご寄付として二千万円を決議し、同  
窓生のつどいにて秋岡学長に目標を贈  
呈させていただきましたことをここに  
ご報告申し上げます。

## 大学祭実行委員会

委員長 大森千愛 国際交流3年

来る2016年11月5日(土)、6日(日)に緑園  
キャンパスにて、大学祭を開催いたします。

今年度のテーマは「The Harvest」です。「収穫の意  
味を持つこの言葉は豊かな秋の実りや華やかな収穫  
祭を連想させます。今年度は「あらゆる分野で活躍する  
フェリス生がそれぞれの個性をいかして感謝を形に  
し、お届けする場としての大学祭」をモットーに「The  
Harvest」のテーマを掲げて開催させて頂きます。

また、このテーマには大学祭が終わつた後も、まる  
で次の収穫にむけて一年間自分の畑を耕していくよ  
うに、次の年に向けて一層励んでいくという継続的な  
意味も込められています。フェリス生によるフェリス  
らしい素晴らしいFeRis Festival 2016になるよう、  
日々準備に努めております。

## フラ部 Hula Pua Anela

代表 村山穂奈実(英文3年)

フラは、古来のハワイにおいて火山の神へに捧げ  
る踊りとして始まったとされています。フラの振りには  
意味があり、大切な人への愛情や自然への愛着などを曲  
に合わせて伝えています。フラが人々の心を掴み、感動や  
笑顔を与えられるのは、曲に込められた深い意味がある  
からでしょう。

私たちはHula Pua Anelaは二〇一五年の四月頃から活  
動を始め、大学公認団体として計26名で活動しており  
ます。イベントへの参加や地域の方々と交流、ポラン  
ティアセンターと連携した福祉活動など、様々な活動を  
行っています。ハワイで日常的に使われる、ALOHA  
の言葉には思いやり・調和・喜び・謙虚・忍耐の意味  
があり、私たちはこのアロハの心を常に胸に刻んでいま  
す。一言では表しきれないほど素敵な意味を含んでいる

同窓会りてら様には、毎年ご  
出店頂いて大学祭を盛り上げ  
て頂き、大学祭も毎年良いもの  
へと発展しております。多くの  
フェリス卒業生のご支援は、大  
学祭実行委員一同、大変心強い  
ものと感じております。



また、元実行委員の先輩方ぜひ同時期を過ごした  
皆様で緑園キャンパスにお越し頂き、赤いウインド  
ブレーカーを着たスタッフにお声かけください。そし  
て励まして頂ければ、なによりの幸です。委員の人  
数も毎年増えており、今年度は77人体制で大学祭を  
より盛り上げていけるよう精進しま  
ります。今後ともご支援、ご指導をよろし  
くお願いいたします。ご来場心よりお待ち  
しております。

## キャンパスだより

言葉ですが、どんな時も、どんな事があつて  
も隣を見ればきこらフラスターズが手  
握つていてくれる、そんな気持ちにさせてく  
れる言葉です。ハワイ語で共にフラを学ぶ仲  
間をフラスターズと言いますが、この言葉の通りアロ  
ハの心を持ったフラスターズは本当の姉妹のように思  
えます。そしてそんな彼女らと学びや喜びを共有できる  
時間は、日常の心のわだかまりを取り除き、笑顔に変えて  
くれるとても貴重で無くてはならないものです。

私は、Hula Pua Anelaがこの先も、誰かの笑顔  
のきっかけになること、そして未  
だ見ぬフラスターズの人生を  
豊かにできる場所になることを  
願っています。これからも人に笑  
顔を癒しを届けられるフラを目  
指して精進して参ります。



# フェリスのシスターフッドの輪に入れて頂いて

文学部長 井上 恵美子



二〇一〇年度に着任して、同姓同名の井上恵美子教授（心理学）が以前いらっしやったことを知り、まず驚きました。その後、同窓生の方々の凛としたお姿を拝見する度に、フェリスのシスターフッド（女性同士の連帯）の輪に入れて頂いたことを光榮に思ってきました。

さらに、近代日本の女子教育史（ジェンダー教育史）研究をしている者として、フェリスは魅力満載です。

他の多くの帝国大学が、例外扱いとはいえ少数の女性を正規の入学者として迎えたにもかかわらず、東京帝国大学は戦前期に女性を学生として一人も入学させませんでした。とはいえ、一九二〇～二七年度に限って女性の聴講生を受け入れたのですが、その二年目の女性聴講生の中にフェリスの卒業生が二名も含まれていました。綱沢（安東）嘉代子さんと高橋眞智子さんです。お二人とも一九二二年三月に英語専修科を卒業し、その翌月に聴講生になっていました。

また第二次世界大戦敗戦直後の一九四六年四月一〇日に、女性たちは日本史上はじめて選挙権・被選挙権を行使し、三九

名の女性が当選しました。その女性衆院議員の内の二名がフェリスの卒業生でした。一九二六年に本科を卒業した松尾（齋藤）トシ子さんは、神奈川県から立候補して当選、以後一九六〇年まで六期一四年間国会議員を務めました。もうお一人の一九一七年に本科を卒業した榊原（間野）千代子さんは福島県から立候補して当選、女性初の司法政務次官も務めた後に、一九四九年からフェリス女学院の理事、一九五一年から理事長、短大校長に就任しました。日本史や女性史の一コマが、フェリスの卒業生の生き様と共に鳴し、生きた歴史として立ちあらわれる面白さを感じております。

また、戦前期の卒業生の内、教職に就いた一三五名の方々の調べてフェリス女学院資料室紀要『あゆみ』に掲載させて頂きました（第六八号、二〇一五年）。たくさんの方々の卒業生が、次々にバトンの後輩に渡してきた一つの証を見る思いです。

現在私はフェリス女学院一五〇年史編纂委員をお引き受けしており、主に戦後直後から一九六〇年代までを担当しております。今後は、フェリスの専門学校・短期大学・四年制大学について、同窓会の皆様に教えて頂きながら調査研究を進めてまいりたいと思っております。今後ともご指導の程、どうぞよろしく願います。

## 小さな旅くらぶ

9月15日(火)、小さな旅に参加しました。爽やかな朝を迎え、楽しい旅が始まりました。

旅先は、日本を訪れる外国人にも人気の両国の江戸東京博物館。リニューアルされた常設展示コーナーをボランティアガイドの方と見学しました。ポイントを押さえての説明は、とてもわかりやすく江戸東京の魅力が再発見しました。

ランチは、第一ホテル両国の日本料理『さくら』。ス



カイツリーを眺めながら、秋の味覚に舌鼓を打ち、世代を越えてお話しが咲きました。ランチ後は自由解散となり、江戸東京博物館に再入場。特別展『徳川の城』を見学してから、帰路に就きました。

多くのみなさまと出会えた小さな旅。ありがとうございました。

山縣 幸子(1984J)

これからの「小さな旅くらぶ」  
りてらの「小さな旅くらぶ」は会員登録を  
していただく有志のくらぶとして活動して  
おりました。今後の活動につきましては、企  
画立案から下見、ご案内と参加者募集、実施  
まで、くらぶ登録者の皆さままでの運営を：  
というご提案がございました。

この活動のお手伝いをしてくださる方  
くらぶにご登録ご希望の方は同窓会室まで  
ご連絡くださいませ。

## りてら 2015年度決算報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

### ●収入の部(円)

科目	決算
終身会費	750,000
預金利息	14,848
雑収入	20,000
収入小計	784,848
前年度繰越金	51,639,892
収入合計	52,424,740

### ●支出の部(円)

科目	決算
総会費	1,010,044
報連費	2,604,281
クリスマスカード費	913,507
企画費	38,082
会費	190,897
卒業・入学関連費	837,618
大寄学祭	12,698
就職課支援金	1,000,000
就学50周年祝	0
大学開設50周年祝	32,808
交際費	70,000
会費	1,028,888
交通費	175,920
通信費	128,061
パソコン関連費	112,819
ホームページ関連費	142,302
印刷費	68,550
事務用品	31,238
事務消耗品	103,886
手数料	3,750
備品	9,695
雑予備	11,322
支出合計	9,526,366
次年度繰越金	42,898,374
合計	52,424,740

# 同窓生だより

## 「表現者として」

皆さま、お変わりありませんか。シンガーのみうらまちです。ジャズやシャンソンの世界を歌っております。

今日5月30日はモーシヨン・ブルー・ヨコハマに出演の日。夜明けの雨も上がり、昼下がりの赤レンガ倉庫を、薄鼠色の低い空がお芝居のように包み込んでゆきます。夜ともなれば潮風が一層秘めやかに香り、お客様をお迎えします。フェリスでお世話になった永田先生方もお運びくださいます。

卒業して幾つかの会社勤めをしながら好きな歌を習い、そして歌いつつ、結局一番手触りに迷いのない「歌」が残りました。この十三年あまり、音楽塾とライブが両輪です。音楽塾では具体的な呼吸法や発声法も取り入れつつ、生徒さんがご自分の何かを投影・開放できるような歌へのかかわり方を求めています。

また、ライブでは表現者として過去から引き継ぎ、発芽している預かり物のよきな自分の宝を皆さまにも体感していただきたい、そんな歌い手になりたいと念じております。



## みうらまち

私の学生当時、フェリスは山手にあり、ぼつぼつ授業参加のなまけものでしたが、今、元町商店街から身体覚えで坂道を登ってゆくと、其処此処に自分が見えてきて、いかに無造作に時をやり過ぎていた事か、今になってそれがどんなに貴重であるか、目覚めの杭でも打たれるように刻まれます。そして、この女学院に通わせてくれた両親に感謝でいっぱいになります。両親のみならず、先生や、友人たち、食堂のママさん、その時代が創るすべて、時代をもたらせてくれた過去の膨大な、知る術のない関わり者に「ありがとうございます」。

ライブの余韻の潮風です。MACHIKO GROUP（いつも一緒にジャズピアノトリオ）もこのほか熱演。

お帰りの永田先生方の笑顔が一番の励みです。励まされつつも、次への課題が始まります。

七月には東北被災地での支援ライブ、十月は生徒さんの発表会、さらに大分出身の私は九州ツアーを欠かせません。暮れには恒例の渋谷セルリアンタワー東急ホテル「ジェイ・ジー・プラット」でのディナーショー。

そして2017年5月のモーシヨン・ブルー・ヨコハマでは、ぜひ、お元気な皆さまとお会いできますように！

諸事お問い合わせは喜んでお受けいたします。今日もお仕合わせに。

## 全学教養教育機構CLA

2017年から新たにスタートする全学教養教育機構(以後CLA)は、大学のリベラル・アーツ教育の拠点となるものです。CLAでは、新しい時代に主体的な役割を果たすために必要な知識と語学運用能力、課題発見・課題解決の方法を4年間にわたって習得するためのカリキュラムを提供し、学生はCLAにおいて、フェリスト教科目、語学科目(10言語)、知のフロンティア科目、実践教養科目、フェリス教養講座科目など、多彩な科目を学部・学科の専門教育と並行して学びます。

5月の学年幹事会と6月の総会で、この件について秋岡学長先生から直々に熱いプレゼンテーションを受けさせていただきました。

このCLAにりてらとしてもご協力したく、資産から寄付金を拠出することとし、総会の折に秋岡学長に贈呈させていただきます。

個人でのご寄付につきましてはこの会報に同封してあります振込用紙をご利用くださいませ。



## 新役員紹介

会長	小澤 美智子(70 J)
副会長	羽田 明美(79 J)
	終 聡子(84 J)
書記	木村 貴美(85 J)
會計	渡部 かほり(82 J)
會計監査	古谷 ゆかり(87 E)
	高間 美鈴(61 E)
	横山 和子(71 E)

任期は2018年3月まででございます。どうぞよろしくお願いいたします。



# りてらアーカイブ 11

## フェリスの思い出—— 個人研究室とともに

前田 絢子

実は、本当に「アーカイブ」に登場してよいものか迷いながら、パソコンに向かっている。2010年に定年退職したが、その後、特任教授として3年、非常勤講師として2年を務めさせていただき、現在なおオープンカレッジの講師として、週一度、緑園キャンパスに出没しているからである。

とはいえ、思えば長い時間が経った。すべては、フェリスに非常勤講師と呼ばれた1973年の秋の日に始まった。フェリスを急に辞められた先生がいて、大学院博士課程の最終学年を終えようとしていた私に声がかかったのだ。童顔だったこともあって、レポートを提出しにきた学生と間違えられるなど、縮み上がるような、頼りないスタートだった。そして翌年の四月には、そのまま専任講師として迎えられる、私の長いフェリス人生が始まった。バンカラで知られるマンモス大学から来た私は、はじめは山手の優雅で上品な雰囲気、物怖じを覚えたものだった。しかし、優しい先輩の先生方や職員の方々に囲ま



オープンカレッジで  
プレスリーを熱く説く

れて、すぐにフェリスに馴染み、フェリスが好きになっていった。

教員になって驚くことがいくつもあったが、なかでも個人研究室を与えられたことに感激した。それは山手キャンパス3号館の5階にあった。窓の外には、山手の丘から見下ろす絶景が広がっていた。異国情緒豊かな横浜の港を望み、その向こうに富士山があった。さらさらと汽船を赤く照らす夕焼けは、今なお目の裏に焼き付いている。同時期に赴任された大先輩の女性の先生と同室だった。この気品のある優秀なイギリス文学・シェイクスピア学者から、いかに多くのことを学んだことか。広くはないその部屋に机を二つ並べ、本を読んだり、二人で楽しくおしゃべりをしたりした。この建物の4階には、英文学研究室があり、入り口近くのカウンターには、副手さんが常駐して、学生にも教員にも親身な対応をしていた。部屋の奥は図書室になっていて、英文学科関係の蔵書、主として洋書の書架が幾重にも並んでいた。その間に大きな机があり、学生たちが定期的に読書会を開いたり、講師を囲んで茶話会をしたりしていた。入学定員が英文学科も国文学科も、わずか50人という時代だったから、だいたいの学生の名前と顔が一致した。

だ。それまでは、フェリスとの境には鉄条網が廻らされ、まるで秘密の花園的な別世界だった。与えられた部屋は、花壇のある芝生が目の前に広がる一階だった。建物はかなり荒廃していたが、ほとんど手を入れずに利用したため、居間だったと思われるその部屋の奥には使用不可のバスやトイレがあった。時々巨大な土蜘蛛が現れて、目が合うことがあった。これが由緒ある建物であることを知ったのは、ごく最近のことである。フェリスのホームページには、10号館が著名な建築家A・レイモンドによって設計されたもので、横浜市認定歴史的建造物に指定されていると紹介されている。この建物を発注したマーク・サミュエルの物語にも、横浜の歴史が息づいている。東ヨーロッパのユダヤ人迫害を逃れてイギリスに渡り、雑貨品を引き売りする街頭商人の貧しい家庭の出だった。1871年、18歳のマーク・サミュエルは父親からもらった5ポンドを手に、ロンドンから横浜までやってきた。湘南海岸で拾った貝殻に、ビジネスチャンスを感じた彼は、それをホタンやタバコケースに加工してイギリスに送り、大成功した。やがて石油の採掘に目をつけ、ライジング・サン石油会社(シェルの石油の前身)を横浜に設立した。後に世界初のタンカーを建造して「タンカー王」となった。彼は、成功の原点だった湘南の貝殻のことを忘れず、それを会社の商標としたという。こんなに面白い背景を知らぬまま、この研究室で20年以上を過ごした。



山手10号館

2001年、文学部が全面的に緑園に移転したのに伴って、私の個人研究室も、緑園キャンパス7号館5階に移った。この部屋からも、新しい町並みの向こうに富士山が見えた。新築の部屋の中で、山手から持ち込んだ書棚と本が奇妙に古びて見えた。訪ねてきた学生が、「この部屋、先生の部屋なんですか? すごい!」まるでホテルみたい!と、感激していた。ここでの退職までの10年の間に、フェリスは大きく変わり発展していった。

山手3号館は老朽化が進み、2002年に取り壊された。10号館は歴史的建造物として保存され、現在は希望者に一般公開されている。そして、緑園7号館は、もちろん文学部の拠点として、個人研究室も含めて大活躍中である。先日、7号館を訪ねる機会があつて、新しい活気のなかにフェリスの懐かしい過去、伝統が健在なのを見て、感慨を新たにしました。



山手旧3号館

### りてら同窓会室

**開室** 毎週火曜日・木曜日 10時~16時  
(大学の春・夏・冬・長期休暇中は閉室)  
**住所** 〒245-8650  
横浜市泉区緑園4-5-3  
フェリス大学院内  
**電話** 045-812-8692  
**FAX** 045-814-8966  
**URL** <http://litera.grip.jp>  
**Eメール** [info@litera.grip.jp](mailto:info@litera.grip.jp)

# りべるて

Vol. 28  
家政科同窓会

## りべるての皆様

会長 金子 和恵



りべるての皆さま、いつもへりべるての活動にご理解と協力をいただきまして、ありがとうございます。今年も会報を発行できますことは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと、厚く感謝申し上げます。

去る4月、熊本地方を襲った地震により被災されました皆さまにお見舞い申し上げます。5年前の東日本大震災の復興も半ばで、今なおお手紙をお届けできない会員もいらっしゃいます。一日も早く平穏な毎日が訪れますよう心よりお祈り申し上げます。

6月の総会で、80代の先輩がご出席くださいました。皆さまともお元気で、楽しく過ごされた学生時代のお話を、まるで昨日のことのように話され、最後に、「来年も、また山手に来ることができるよう頑張ります。だから、皆さんも同窓会のお世話をよろしくお願いしますね」と、お気遣いをくださってお帰りになりました。役員一同感激し、身の引き締

まる思いで今年もまた、活動して参ります。

2011年に創設致しました「りべるて奨学金」も5年経過し、新年度を迎えるにあたり、大学より引き続きの支援の要請を受けました。勉学の意欲のある学生が一人でも多く私たちのフェリスで学べることを願い、今後もお手伝い、をさせていただきます。

家政科は、1950年に初めての卒業生を送り出して以来、1988年に発展改組されるまでに約5500名の卒業生を輩出してきましたが、同窓会へりべるては、現在約4600名の会員へお知らせや会報をお届けしております。お申し出いただければ、海外へも郵送しております。どうぞ、ご本人はもちろん、ご友人の転居先をご存知の方は、りべるて事務局までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

2020年、フェリス女学院は創立150周年を迎え、今年より記念事業「同送書類参照がスタートします。大学では、まず、「新しい時代を切り拓く」ために必要な現代の教養・能力を身につけることができるCLA（全学教養教育体制）を構築するそうです。学びの環境を整えるため、緑園2号館の改修が必要となります。また、学院としては、元の家政科の校舎であった6号館を改修して150周年記念フェリス資料館を設置し、広く社会にフェリス女学院を理解していただくと言っています。また、同窓会が利用できる施設もご用意いただけるそうです。

大学・学院のこのような「150周年事業」に、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

さて、昨年度も各種教室を好評のうちに開催しました。ここ数年、初めて参加される会員や他の同窓会から参加して下さる方が増えていることもうれしい限りです。また、フェリス祭参加のバザーにおいて、へりべるての会員はもとより、会報をご覧になった他の同窓会会員からの献品が増えていることにも感謝しております。収益については、全額維持協力会に寄付させていただきました。今後とも、皆さまのご協力をお願い致します。

なお、へりべるての活動をお手伝いして下さる方を求めています。ボランティアではありませんが、是非、ご参加ください。

これからも、母校と同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



奨学金贈呈

2016.6.11(土) りべるて総会

### 2016年度役員

会長	金子 和恵	D	D
副会長	村本とよ子	D	D
書記	小倉由紀子	D	D
総務	北村 周子	D	D
会計	遠藤木美子	D	D
監査	石井 克子	D	D
	池田 昭子	D	D
	鈴木 初枝	D	D
	岩江真理子	D	D
	三藤 裕子	D	D
	倉掛 典子	D	D
	田原 吉子	D	D
	三浦由里子	D	D
	郷 佑美	D	D
	浅見 治美	D	D

### 行事予定

- 11月10日(木) 大森先生のお菓子教室
- 11月2・3日(水・木祝) りべるてバザー
- 12月10日(土) クリスマス礼拝
- 2017年
- 2月8日(水) 大村先生 ステンドグラス教室
- 3月1日(水) 矢吹先生北欧絵織教室

# 活躍する同窓生

D 55 下田佳代子



小さい頃から絵が好きで、中学から油絵を描き始め、暇な時に美術図録をながめる子供でした。高校に入るとキュビズムなど抽象画に心酔し、50号の大作で挑んだ県展は、自転車の分解そして再構成を抽象で描き、県最優秀賞をいただきました。すると、いよいよ現代アート好きの生意気な美術的ロククな少女ができました。それから数年がたち結婚出産を経て、ボタニカルアートに出合ったのです。それは運命的な出会いとなりました。確かな技術に裏打ちされたリアルイズム、科学的な植物表現、まさに写真の中の写真、しかもアートと呼ぶにふさわしい美しさにすっかり魅了されました。ところがその10年ほど前フェリス在学中にフランス語スペイン語履修者の旅行に参加させていただいた時、すでにボタニカルアートに出合っていた記憶があるので、フランスだったと思いますが滞在ホテルに数枚並べて飾られていた、あの時これは何？と足を止めて見入った絵は、きつときつとボタニカルアートだったのだと思います。西洋では古代から薬草図譜として、また大航海時代にはプラ

ントハンターが活躍し、おおかえ絵師による多くの植物画が生まれました。現在も英王立キューガーデンはボタニカルアートを収集し続けています。そして私財を投じる熱心なコレクターが世界中にいるのです。ところが日本での歴史は浅く、紹介されたのはわずか40年ほど前の事。その頃の私には旅先のホテルで見た絵がそれと分かるはずはありませんでした。ボタニカルアートを知ってからは、地道に絵筆をにぎる日々と植物への知識欲とであつと言う間に時が流れました。当時日本ボタニカルアート協会に在籍していらした、小高康子先生から講師の道を勧められ、現在は栃木県内で数か所、自宅でも少人数のサロンとして講座を開いております。ブログ(ボタニカルアートを描く暮らし飾る暮らし)で私の作品を知り遠方から作品展において下さる方々や、県外から熱心に講座に通って下さる方も大変励まされます。法人からの制作依頼も受ける様になり、また望まれていくつも作品が買い上げとなりました。いくら好きな事とは言え、絵で身を立てるのは夢のまた夢と思っていた私がまさかボタニカルアーティストになるとは、これは両親と私を支えてくれる夫のお陰に他なりません。また学生時代を過ごした横浜山手の環境は少なからず私の美意識に良い影響を与え、フェリスで学んだすべてが、絵を描きつつも家庭をきりもりする私の柱となっております。フェリスを卒業致しました事に誇りと感謝の気持ち、終生持ち続ける事でしよう。



## 家政科同窓会の源流

1989年3月11日、「家政科さよならパーティ」が、山手6号館を中心に開催されました。当時の新聞記事によると、約1300名が出席し、40年の歴史に幕を下ろしたとあります。

地下一階の階段教室で行われた式典で、五十川家政科長が、「家政科の名は消えるが、その伝統は国際文化学科に引き継がれる」と挨拶されました。また、「家政科は、その最高の社会的評価とともに(中略)華麗な校舎と校地、および(中略)資金のすべてをフェリスの新しい歴史の中に投入し」と書かれています。同年発行の「りべるて」創刊号には、中島省吾学院長よりのご挨拶が載っています。「フェリス女学院における家政教育の意義は、学院の歴史において忘れてはならない重要な、また、ユニークなものであったと思います。そのことを具現していた『家政科』の歴史が閉じられることは大変寂しい。」とお書きになっていらっしゃいます。

五十川先生はじめ先生方の創り上げられた家政科の伝統は、国際文化学科(後の国際交流学部)へ引き継がれたのでしょうか。やはり、家政科は家政科らしく幕を閉じました。卒業生一人一人が、一番心の揺れ動く多感な時期に、素晴らしい先生方に囲まれ最高の教育を受け、女性の一生に必要な学問をしっかりと教えていただいたと思っております。また、機会あるごとに、奥山先生は報いを求めないで与えなさい。これは、フェリス精神 For Othersでもあります」と話してくだ

さいました。

このフェリス精神が、家政科卒業生にしっかり根付き、その後の人生の指針となっていることは言うまでもありません。そのような会員に支えられ「りべるて」もここまで活動して参りました。2年後に迎える30周年を一区切りとし、今後の活動を考えて行きたいと思っております。これからも皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

## 大学生のためのクリスマスリース教室

12月4日、恒例となりましたひとり暮らし応援プログラムの「クリスマス・リース教室」を家政科記念館で開催しました。講師は、フrawee&テーブルデコレーターの近藤由香里さん(D51)にお願いしました。

授業を終えて、初めて山手の家政科記念館を訪れた学生さんたちは、短期大学家政科が発展改組されて現在の国際交流学部へとつながっている、という歴史を興味深く聞いてくださいました。

「リース作りは初めて」という参加者が多く、たくさんの材料を前にして、どこから作り始めるのか不安そうな表情でしたが、講師の先生に教えていただきながら花材を使って順番に作り始めると、それぞれの個性とセンスがいかにく発揮され、素敵なリースを完成させました。

お茶とお菓子をいただきながら、先生と楽しい歓談のひとつときを持ち、「自分の部屋に飾るのが楽しみ」と言いながら、出来上がったばかりのリースを大切にうに持ち帰る様子を、お手伝いをして、役員たちにとっても充実した楽しいひとときとなりました。



# あの頃を訪ねて

## 関内

皆さま、体育の授業はどちらで受けましたか？昭和30年代の学生は、中高体育館と、冬になると反町にある神奈川スケートリンクで、スケートを教えていただいたそうです。40年代に入ると、ベビーブームで人数が増えたので、横浜公園にあったフレイヤー体育館や横浜文化体育館をお借りして、卓球、バレーボール、社交ダンスを教えてください。時には、代々木体育館に実業団バレーボールの試合を見に行くことで出席になったそうです。しかし、当時の学生は学校と自宅の往復ばかりで、地図を片手に代々木体育館へ向かっても迷子となり、とうとう欠席になった学生もいたそうです。携帯もなく、人に聞くのも恥ずかしく、困り果てた学生の姿が目につかぶようです。社交ダンスを習い、代官坂のクリフサイドで開催された学友会主催のダンスパーティーは大盛況で、社交ダンスを習い参加し、これがご縁で横浜市大や防衛大学の学生と結婚されたかたもいらしたそうです。また、体育の授業がお昼に終わると、中華街へ行って昼食を取り、タクシードで学校へ戻った、などという話もよく耳にします。当時は、学校まで90円だったとか。時代を感じますね。足立千恵子先生からは、「ラーメンはかん水が入っているから食べてはいけません」と何度も言われていたそうですが、運動した後の「ラーメン」は殊の外おいしかったとお聞きしました。50年代以降は、大学体育館でモダンダンスや球技をしました。



そこで、今回は、横浜文化体育館や関内地区を訪ねてみました。横浜文化体育館は、1962年に開館し、約5000席の規模を誇り、各種スポーツイベントや横浜市の成人式や、コンサート会場としても有名です。ダークダックスのコンサートを開きに行った方もいらっしゃると思います。今も大相撲横浜場所やプロバスケットボール試合などに使われています。フレイヤー体育館のあった横浜公園は、市内では山手公園の次に古い西洋式公園で、明治8年、在留

外国人の生活環境改善を求めた条約に基づき、土木技師リチャード・ブランドン設計のもと、横浜公園と港に向かった「日本大通り」、さらには馬車道と海岸通りが同時期に整備されました。

園内には外国人居留地運動場野球場を兼ねたクリケット場が建設され、明治29年には、日本で最初の野球の国際試合が旧制一校（現東大ベースボール部と外人クラブの間で行われ、昭和4年には野球場が造られ、昭和52年まで、プロ、アマ、大人、子どもを問わない野球の親善国際試合が数多く行われた。昭和53年には、当時の大洋球団を誘致し、市民参加の横浜スタジアムを建設し、現在はDeNAベイスターズの本拠地となりました。また、2020年の東京オリンピックでは、ソフトボール会場に決まりました。



横浜公園から海に向かって歩いていくと、神奈川県庁が見えて来ます。通称「キング」の塔が屋上にあります。道を挟んで横浜市開港記念会館。通称「ジャック」の塔も見えてきます。神奈川県庁は、土日以外は屋上を見学することができます。屋上からは横浜港を一望できることも、通称「グイン」の塔といわれる横浜税関の建物も見えます。日本大通りから馬車道にかけては、ガス燈、赤レンガの歩道、歴史を感じられる建物など、文明開化の横濱を存分に感じられるエリアです。

昭和40年代前半までは、市電で通学された同窓生も多くいらしたとごしょう。キングの塔神奈川県庁舎を横目に、かつて毎日通った道を散策しながら、もう一度訪ねてみては如何でしょうか。木曜日は家政科記念館が開館していますので、どうぞお立ち寄りください。思い出話を伺いしたいと思っております。

## 献品のお願ひ

学院維持協力会に協力するために行なうりべるてバザーにご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださいますようお願い申し上げます。

尚食料品・衣類は除外させていただきます（郵送・宅配便可）

●受付期間：11月1日まで 毎週木曜日

●受付場所：家政科記念館

T231-8651

横浜市中央区山手68

家政科同窓会りべるて宛

## フェリスグッズ

- エプロン（黒・赤・茶・ピンク） 各2,000円
- エプロンストライプ（黒・赤・ベージュ） 各3,000円
- クリアファイル（2枚組） 100円
- エコバック（黒・赤） 各500円



《グッズ申し込み先》家政科同窓会りべるて  
Tel. Fax 045(662)0750



## 北欧絵織物教室

3月2日、春の訪れを感じる暖かな日に、矢吹恵子先生の絵織物教室が家政科記念館にて行われました。石川町駅から、学生時代は授業に間に合うようにと駆け上がった階段を、途中、沈丁花の香りに誘われ足を止めながら休み休みゆっくりと上がって行きました。中・高等学校の校舎は趣きを残しつつも一新しておりましたが、私たちが授業を受けた6号館と家政科記念館は当時のままで、とても懐かしく思わず写真を撮りました。



お教室では、素敵なお花の麻糸を使い、可愛いお花の刺繍のティッシュカバーを作りました。「刺繍なんて、いつ来かしら？」と、矢吹先生に刺し方を教わりながら楽しく進めていきました。とても細かい刺繍だったので、時間内では完成出来ず、続きは自宅で、ということになりました。その後は、美味しいサンドイッチとお茶を頂きながら、皆さんで学生時代の懐かしい話に花が咲きました。

今回、矢吹先生にお会いしたのは、学生時代に受講した授業以来でしたが、魅力的なお姿は、あの当時と変わらぬままでした。完成したティッシュカバーは、とても素敵で、いつまでも大切に使用して頂きたいと思っています。卒業後、長い年月を経ても、懐かしい母校にて、このような機会を設けて頂き、そして参加出来る事とても嬉しく幸せに思います。ありがとうございました。



(久保田麻子 D 63)

## お料理教室

同窓会から届いたお葉書を見て、久しぶりに行ってみたいよととりよるて友井先生のお料理教室に、友人と参加させて頂きました。梅雨空ではありませんが、学校や部室として使わせていただいていた洋館は当時のまま残っており、懐かしさと同時に学生時代にタイムスリップし爽やかな気持ちになりました。



今回は、大森いく子先生に友井先生オリジナルレシビのビーフストロガノフを教えていただきました。牛フィレ肉をたつぷりと使ったビーフストロガノフは、お肉とソースを別々に調理した後に合わせて少しだけ煮る事で、ソースがからんだお肉が大変柔らかく、硬めに炊いたバターライスが絶妙とても美味しくいただきました。デザートは、大森先生のブルーベリーケーキで、卵1個で作ることができ、この季節にぴったりなサワークリームと生のブルーベリーをふんだんに入れて、見た目も可愛い大変美味しいケーキが出来上がりました。翌日早速家で作ってみました。とても美味しいと家族に大好評でした。友井先生オリジナルのソースの色とお味で、先生を想いながら同窓会の方々と楽しくお話をしながらお料理をしたりお食事する事が出来、心穏やかな大切な時間を過ごさせて頂いたご感謝申し上げます。



(岩本淳子 D 54)

## ■2016年度予算 2016年3月31日

科目	金額
消耗品費	120,000
(事務用)	10,000
(その他)	110,000
旅費・交通費	410,000
通信・運搬費	940,000
(郵便料金)	930,000
(宅急便)	10,000
印刷・製本費	800,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	100,000
渉外費	100,000
雑費	90,000
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,662,000

会長 金子和恵

会計 石井虎子

池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2016年5月19日

監査 郷 佑美

浅見 治美

## ■2015年度決算報告書 (2015年4月1日～2016年3月31日)

科目	金額
収入	
受取利息	3,878
業務費(グッズ販売、バザー)	921,289
寄付金の他	0
計	2,134
前年度繰越金	927,301
合計	10,680,350
支出	
奨学金基金	500,000
交際費	0
実務費	103,272
寄附金の他	1,371,177
計	0
小計	1,974,449
次年度繰越金	9,633,202
合計	11,607,651
繰越金明細	
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,662,006
定額貯金(向上)	3,012,000
通常貯金(向上)	798,041
通常貯金(向上)	779,503
普通預金(横浜銀行)	373,140
定期預金(横浜銀行)	2,008,512
合計	9,633,202

## ■2015年度運営費報告書 (2015年4月1日～2016年3月31日)

科目	金額
収入	
基金運営費(学院より)	2,962,410
合計	2,962,410
支出	
消耗品費	2,814
旅費・交通費	411,560
通信・運搬費	1,109,333
印刷・製本費	1,070,556
報酬・手数料	2,022
会議・会合費	116,671
渉外費	121,157
諸会費	38,874
雑費	89,423
修繕費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,962,410
収入-支出	0

## 役員募集

りべるてのお手伝いをしていただける方を募集しております。木曜日が活動日で、交通費(実費)を支給いたします。※昼食は各自ご用意いただけます。

## お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX 045-662-10750 (第一木曜日は閉館)

## 同窓会支部だより

### 東京支部

昨年の東京支部総会は、10月8日、例年通り浜松町東京會館で開催され、新学院院长鈴木佳秀先生がご出席下さいました。新潟で永く過ごされ、現在は初めて土地横浜でフェリス女学院のためにご尽力下さっているご様子に同窓生一同、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

午後は国際交流学部教授、矢野久美子先生のご講演「ハンナ・アーレントとともに考える現代世界の諸問題」。少々難解なドイツ哲学者についてでしたが、先生のわかり易いお話で、どんな立場でも周りに流されず、きちんと思考することの大切さを認識したひとときでした。

11月の読書会は山手の神奈川県近代文学館（柳田国男展）、外人墓地（フェリスにゆかりのお墓参り）、6号館りてらカフェで昼食と楽しい山手めぐりでした。今年に入り、新春歌舞伎は華やかな歌舞伎座で、3月末にはお決まりのアルカディア市ヶ谷「フォッセ」にて満開の桜を観ながらお花見ランチ。

今年の総会（10月6日）には法政大学キャリアデザイン学部教授、宮城まり子先生をお招きしてのご講演「今日は人生の中で一番若い日」。長い人生を展望した人生設計図を考えるという私達にぴったりのお話、皆様お誘いあわせの上、ぜひ東京支部へご参加下さいませ。

支部長 多賀 礼子

### 関西支部

昨年11月11日、大阪駅前前のタイ料理のお店で開かれた支部総会には、若い方々が多数出席され、華やかな活気あふれる会となりました。又、初めて衛藤白菊会長がお越し下さり、新学院院长や同窓会のお話で、引き締めて下さいました。

さて、次は、昨年の支部だよりで触れましたように、経費削減と幹事さんの仕事軽減のため、実施したことです。

全会員に総会のお知らせとともに、はがきでの総会案内の要、不要をおたずねするはがきを送付しました。その結果、約百二十名の方が案内はがきを希望されました。その他の方はホームページや支部だよりで総会案内をご覧いただくことになりました。

尚、今後新しく会員になられる方には、昨年同様の方法で総会案内を送付します。今年の支部総会は11月9日（水）、神戸北野のホテルで開催予定です。関西以外のお住まいの方も、物見遊山がてらお越しください。お待ちしております。

支部長 磯野 和美

### 関西支部同窓会総会のご案内

日時 11月9日（水）11時30分

場所 神戸北野ホテル イグレック

各線三ノ宮駅又は新神戸駅下車、徒歩15分

トアロード沿

申し込み先 [shimizuz@kyoto.zag.ne.jp](mailto:shimizuz@kyoto.zag.ne.jp)

### 西南支部

平成二八年熊本大地震にまわれました、熊本・大分の同窓生の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

九州は地震がないと言われる程です。で、大変驚きました。ご案じ申し上げております。

さて、西南支部同窓会総会は平成二五年より昨年まで春に開催いたしました。今年には以前は秋の開催でしたので、秋のご希望の声もありましたので、十一月に開催致すこととなりました。

この度は、フェリス女学院院长鈴木佳秀先生をお迎えいたします。十一月十二日（土曜日）でございます。改めまして詳しいご案内をお届け致しますので、少々お待ちくださいませ。

例年福岡での開催となっておりますので、それぞれの皆様のお近くなら出席なされるのにお思いの方もいらつしやることと存じますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。年一回の開催でございますので、初めてのご出席でもどうぞお気軽にお出かけくださいませ。お会いできますことを楽しみにお待ちしております。

この会報がお手元に届きました時には平穏な日々でありますようお祈り致します。

西南支部長 菊竹 美枝

### フェリス白菊会より

主のみ名を賛美します。

中高2期工事が完了し、1号館、2号館、3号館（旧12号館）が中高施設として完成し、充実した環境の中で、日々の教育が行われています。フェリス白菊会も新2号館に部屋を用意していただき、活動を始めています。地下1階ですが、生徒の活動するグラウンド越しにランドマークタワーを望む、明るく落ち着いた部屋です。工事中は大学本部、大学同窓会の皆様のご協力によって、無事に活動を続けることができ感謝しております。ありがとうございます。サークル活動も秋からは新同窓会室で再開し、様々な学びの場を持ってまいります。同じ同窓生として、ご参加いただけますので、ぜひ新同窓会室を覗きにいらしてください。



フェリス白菊会 衛藤 怜子

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama  
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.  
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama  
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.  
96815-4211 U.S.A.  
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya (1969J041)  
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA  
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334  
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2015年度フェリス女学院  
中高・大学同窓会 会計報告

(2015年4月1日～2016年3月31日) (単位円)

前年度繰越金(2015年4月1日)	1,300,450
収入	
同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各@¥70,000×4	280,000
利息 2015年8月	112
利息 2016年2月	126
小 計	280,238
収入合計	1,580,688

支出	
支部総会お祝い金 東京、関西支部 各@¥20,000×2	40,000
関西支部大会出席会費、往復交通費	33,500
クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	89,726
支出合計	163,226

次年度繰越金 ¥1,417,462

以上の通りご報告いたします。

2016年4月1日 フェリス白菊会会計 折茂紀代子

# クリスマス礼拝のご案内



《日 時》2016年12月10日(土)  
午前11時から

《場 所》カイパー記念講堂

《説教者》学長 秋岡 陽先生

## クリスマス礼拝(2015年) 献金先

献金総額	269,920円
●日本ユニセフ協会	67,480円
●日本キリスト教海外医療協力会	67,480円
●難民を助ける会	67,480円
●社会福祉法人日本医療伝道会	67,480円

## 大学事務部より

四月の熊本地震は、一時十八万人を超える避難者が出るほどの大きな災害をもたらし、今もまだたくさんの方が自宅に戻れない状況が続いています。

今回は、「震災関係の支援活動」ということで、ボランティアアセンタールの活動をご紹介いたします。四月十四日(木)と十六日(土)の二回にわたって発生した熊本地震の報道を受けて、ボランティアアセンタールでは翌週月曜日からすぐに募金を開始しました。ボランティアアセンタールの運営を担う学生スタッフを中心となつて、あつという間に呼び掛けチラシを作り、キャンパス内での募金を準備しました。年間を通して、「現地に赴かなくてもできる支援活動」として様々な募金活動をしてきた経験や、九州出身の学生がスタッフにいたということも彼女たちを動かす原動力でした。キャンパス内では九回の募金を行い、緑園都市駅前でも街頭募金を行いました。宗教センターの協力でも、お昼のチャペル・サーヴィスでも募金の案内をしていただきました。

募金活動に参加した学生は、「今まで募金をする側だったのが、お金を集める側になって不思議な感覚だった」「募金して欲しいというよりも、立ち止まって関心を持ってもらいたいという気持ちが強かったなど、支援される側の立場に寄り添う体験を通じて多くを学びました。募金箱を持って「立つ側」の体験をしてもらいたいと全学



生に呼び掛け、「実は熊本出身です」という学生が何かしたいと考えていた学生がたくさん参加してくれました。募金活動は、六月末まで続き総額一三四、七五六円が集められました。公益財団法人日本YMCA同盟とセーブ・ザ・チルドレンを通じてそれぞれ地域コミュニティ復興、被災した子どもたちのために使われる予定です。

ボランティアアセンタールでは、二〇一一年の東日本大震災を機に、福島の子どもたちを横浜に招いて安心・安全の中で過ごしてもらおう保養プログラム「サマースクールプログラム(サマプロ)」を毎夏に実施しています。今年も小学校五年生から中学三年生まで二十名の子どもたちが五日間、神奈川県相模原市の施設でフェリス生と一緒に楽しい時間を過ごします。サマプロも、福島出身の学生の発案で始まり、代々学生に引き継がれ、フェリスならではの支援のかたちをつくっています。

ボランティアアセンタールは、フェリスの教育理念「For Others」に基づいて学生のボランティア活動を支援しています。大学の授業の学びと異なり、人となりが、社会とつながる中で体験的に学んでいく場として、また学生のエンパワメントにつながる場として支援を続けています。

## 大学祭「卒業生向け企画」

十一月六日(日) 十四時～十六時  
緑園キャンパスにて元文学部教授の前田純子先生、来校。  
授業の再演と懇親の時を持ちます。  
卒業生の皆さん、旧友とぜひ大学祭へ!!

## サークル紹介

2号館地下に移動し、明るく見晴らしが良くなった新同窓会室で楽しく活動しています。  
ご希望の方は、フェリス白菊会にお申し込み下さい。045-641-5200

### 聖書を学ぶ会

お 話 岡野 昌雄先生  
日 時 毎月第2木曜日10時半～12時(8月休講)  
会 費 月額500円

### ギリシア哲学

お 話 岡野 昌雄先生  
日 時 毎月第3火曜日13時半～15時(8月休講)  
会 費 月額500円

### 世界史講座 西洋史(近現代編)

講 師 棟居 洋先生  
日 時 毎月第3木曜日10時半～12時(8月休講)  
会 費 月額1,000円

### キリスト教美術散歩

お 話 衛藤 良恭先生  
日 時 原則毎月第2火曜日13時半～15時(8月休講)  
会 費 月額1,000円

### 杏の実

ご指導 三森 杏実先生(S47)  
日 時 原則毎月第2・第4土曜日 12時～15時  
会 費 月額1,000円

### 英語読書会

講 師 吉野 洋子先生(S35)  
日 時 毎月第3水曜日 10時半～12時(1・8月休講)  
会 費 月額1,000円

### 手芸の会

日 時 原則毎月第3月曜日 10時半～16時  
7・9月第2月曜日、12月第1月曜日(2月・8月休会)  
会 費 月額1,000円+材料費

## 2016年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆10月14日(金) 芸芸コンサート2016  
～Welcome to JAZZ vol.2～  
19:00開演/一般¥1,000 フェリスホール
- ◆11月3日(木・祝) 室内楽の夕べ  
開演時間未定/入場無料 フェリスホール  
【出演】学内オーディション合格者
- ◆11月23日(水・祝) オーケストラ協演の夕べ  
開演時間未定/入場無料 フェリスホール  
【出演】ソリスト:学内オーディション合格者  
指揮:鷹羽弘晃 フェリス室内管弦楽団
- ◆12月2日(金) フェリス管弦アンサンブル定期演奏会  
19:00開演/入場無料 フェリスホール  
【出演】フェリス管弦アンサンブル  
ソリスト:学内オーディション合格者、指揮:飯吉 高
- ◆12月23日(金・祝) フェリス女学院「メサイア」演奏会  
19:00開演/一般¥2,000 フェリスホール
- ◆2017年2月下旬 音のグルメア・ラ・カルトvol.10  
詳細未定/フェリスホール
- ◆2017年3月中旬 卒業記念演奏会  
詳細未定/フェリスホール

【お問合せ】音楽学部演奏委員会室  
TEL: 045-681-5189(平日10:00～17:00)  
E-mail: concert\_office@ferris.ac.jp  
音楽学部演奏会facebook <https://www.facebook.com/FerrisConcert>

## Fグループコンサートのご案内

- ◆9月10日(土) ジョイントコンサート  
ピアノ、声楽、ガンバ、オルガンによるコンサート  
16:00開演/全席¥1,000 フェリスホール
- ◆11月12日(土) 研修会  
14:00開演/一般¥1,000 学生¥500  
小学生以下無料 フェリスホール  
【講演】主に向かって新しい歌をうたおう!  
【講師】秋岡陽学長

お問合せ:Fグループ事務局  
TEL: 045-681-6740(木曜日10:00～17:00)  
Email: f-group@ferris.ac.jp

天来の慰めをお祈りいたします。	霜越	森川	鰐部	永原	國中	大矢	中林	石山	福田	りるる	岡田	森田	村越	大澤	田島	伊藤	樋渡	白見	藤井	桂田	樋口	大島	浅野	小林	中西	菊地	山内	Fグループ	馬場	北村	唐津	遠山	永眠者(お届けのあった方)	
	D	D	D	D	D	D	D	D	D	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)	(1035)
	42	41	40	39	37	35	33	31	29	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	6	4	4	6	5	8	6	6	6	6	5	5	5	4	5	6	3	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	3	3	9	2	8	4	3	3	6	1	4	7	7	10	12	6	2	11	8	7	6	4	10	12	11	7	7	9	2	1	12	12	12	
	15				20	1	17		1	7	28	3	16	9	15	24	13					30	11	5	10	5			1					

**フェリス女学院大学同窓会会報**  
2016年8月発行  
担当: 家政科同窓会りるる  
りるる 045(662)0750  
045(812)8692  
Fグループ 045(681)6740

4月熊本県の大きな地震により被害に遭われました皆様様に心よりお見舞い申し上げます。  
今年も無事に会報をお届けできます幸せを感じたいです。そして会報を通じてたくさんのお会いを楽しんでいただけましたら、嬉しく思います。  
ご意見等ございましたらお寄せください。

### 編集後記

●テーマ 『The Harvest』  
開催日時: 11月5日(土)、11月6日(日)  
(両日とも11時～17時)  
開催場所: 緑園キャンパス

●資料室からお願い  
フェリス女学院百五十年史資料集◆第4集◆『加藤豊世・布施淡往復書簡 明治期のある青春の記録』が刊行されました。  
ご希望の方は資料室まで。  
●短期大学・大学の歴史や学生生活に関する資料を収集しています。フェリスに関する資料・情報をお寄せください。  
フェリス女学院資料室  
電話: 045-662-4411  
mail: shiryo@ferris.ac.jp

## 大学祭

FERRIS FESTIVAL 2015